

『コモンの自治論』

2023年8月25日発売(1,870円(2024.5.29 平和堂))



著者：斎藤 幸平 (1987年生;37才;卯)
著者：松本 卓也 (1983年生;41才;亥)
著者：白井 聡 (1977年生;47才;巳)
著者：松村 圭一郎 (1975年生;49才;卯)
著者：岸本 聡子 (1974年生;50才;寅)
著者：木村 あや (1974年生;50才;寅)
著者：藤原 辰史 (1976年生;48才;辰)

【『人新世の「資本論』、次なる実践へ！
斎藤幸平、渾身のプロジェクト】

戦争、インフレ、気候変動。資本主義がもたらした環境危機や経済格差で「人新世」の複合危機が始まった。

国々も人々も、生存をかけて過剰に競争をし、そのせいでさらに分断が広がっている。崖っぷちの資本主義と民主主義。この危機を乗り越えるには、破壊された「コモン」(共有財・公共財)を再生し、その管理に市民が参画していくなかで、「自治」の力を育てていくしかない。

『人新世の「資本論』の斎藤幸平をはじめ、時代を背負う気鋭の論客や実務家が集結。危機のさなかに、未来を拓く実践の書。

【目次】

- はじめに：今、なぜ〈コモン〉の「自治」なのか？
- 第1章：大学における「自治」の危機
- 第2章：資本主義で「自治」は可能か？
——店がともに生きる拠点になる
- 第3章：〈コモン〉と〈ケア〉のミュニシパリズムへ
- 第4章：武器としての市民科学を
- 第5章：精神医療とその周辺から「自治」を考える
- 第6章：食と農から始まる「自治」
——権藤成卿自治論の批判の先に
- 第7章：「自治」の力を耕す、〈コモン〉の現場
- おわりに：どろくさく、面倒で、ややこしい「自治」のために

斎藤幸平
白井 聡

松村圭一郎
岸本聡子
木村あや
松本卓也

藤原辰史
斎藤幸平
松本卓也

【著者略歴】

- 斎藤幸平 (さいとう・こうへい)
経済思想家。『人新世の「資本論』』で新書大賞受賞。
- 松本卓也 (まつもと・たくや)
精神科医。主な著作に『創造と狂気の歴史』など。
- 白井 聡 (しらい・さとし)
政治学者。『永続敗戦論』で石橋湛山賞受賞。
- 松村圭一郎 (まつむら・けいいちろう)
文化人類学者。『うしろめたさの人類学』で毎日出版文化賞特別賞受賞。
- 岸本聡子 (きしもと・さとこ)
杉並区長。主な著作に『水道、再び公営化！』など。
- 木村あや (きむら・あや)
社会学者。Radiation Brain Moms and Citizen Scientists でレイチェル・カーソン賞受賞。
- 藤原辰史 (ふじはら・たつし)
歴史学者。『分解の哲学』でサントリー学芸賞受賞。